

今月の題字



くまの

熊野第三小学校5年 小池 紗奈瑞 さん

熊野第三小学校1年 山本 栞那 さん



【評】昔話「おむすびころりん」を聞き、穴に落ちたおじいさんとそこに暮らす鼠たちとの様子を思い浮かべ、クレヨンやちぎった折り紙で楽しく表現しました。

熊野第三小学校3年 森 康稀 さん



【評】ほ先が通るところに気をつけて「点」と「はね」を書きました。次の画になく気持ちで書けました。「はね」はうまく力をぬきながら書けています。

熊野の自然 特別編その1 (資格取得のきっかけ・執筆の苦勞)



みどり はなぶん かし とみざわ ゆみ こ
緑花文化士 富沢由美子さん

熊野町出身(広島市在住)。広報くまのにて「熊野の自然」を第82回～第387回まで執筆。現在は、町内外問わず公民館などで自然観察会を実施している。(旧姓 荒谷)

今月号から3月号まで

「熊野の自然」特別編として、長年「熊野の自然」を執筆いただいた富沢由美子さんのインタビューをお送りします。

小さな頃から自然が身近にあったという富沢さん。野山で出会う何にでも興味を持ち、今でも気になる植物や昆虫に出会うとすぐに図鑑で調べると言います。そんな富沢さんが緑花文化士の資格を取得したのは平成15年。きっかけは試験を受けた人から面白い試験だったと試験問題を見せてもらったことだといいまします。「問題を見たら確かに面白いな。また、以前から

熊野の自然の執筆や公民館などで観察会をしており、何か一つ資格を持ってもらいたかと思つたので受けることにしたんです」。

「熊野の自然」の執筆を始めたのは平成8年7月号からで、令和3年12月号まで306回執筆されました。執筆では、できるだけ掲載する月に咲いている植物などを題材に選んだり、植物の高さや花の時期など植物の基本情報だけでなく、名前の由来など読者の人に興味を持つてもらえる内容になるように心掛けていたそうです。また、原稿を行数におさめることに一番苦勞したと話されました。(2月号に続く)

筆の駅ミニギャラリー

●清水比庵展

(書簡・絵てがみ)

時1月8日(土)～29日(土)

歌人・書家・画家の文化人として知られる清水比庵先生(1883～1975岡山県出身)から仿古堂二代目社長井原思斉にいただいた書簡中心の作品を展示。



清水比庵 富士山

熊野町観光案内所「筆の駅」

熊野町出来庭10・6・24

問85・11123 (いいふみ)

開10時～16時

(各展示の最終日は15時閉場)

休水曜日・第3日曜日

年始年末12月27日(月)～1月6日(木)

※無料

※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。



Instagram



LINE



LINE



LINE



LINE



LINE



LINE



LINE



LINE



LINE



LINE



LINE